

ひばり

東国分爽風学園 市川市立稲越小学校

〒272-0831 市川市稲越 3-21-8 Tel 373-8401

<https://ichikawa-school.ed.jp/inagoshi-sho/>

「稲越三名人」への挑戦！

校長 吉田 直美

6月になり、前期の学習は中盤に入っています。学習に集中して取り組み、やる気を感じる子が大勢います。そういう教室は、入った瞬間に空気感が違います。なんともいえない熱い空気を感じます。毎日、すべての教室を参観していると、その日のその学級の空気がまるでサーモグラフィーで可視化しているように、手に取るように感じられます。担任や専科の授業、そして、それを支えるサポート職員の支援。すべての教職員が稲越小の子どもたちを元気にしたいという思いや願いを持って日々の教育活動を行ってまいります。

さて、漢字読み名人、あいさつ名人、なわとび名人への挑戦がスタートしました。名人になるための道のりにはそれぞれの取り組みが決まっています。特に漢字読み名人は、最終チャレンジとして、漢字ドリルの中から校長が指示した漢字をすべて読めることがミッションクリアの条件となっています。6月6日の週に、中学年1名、高学年2名が早速チャレンジし、ミッションをクリアしました。今後、漢字の学習や縄跳びの練習に対する好奇心に火が着き、自分のめあてに向かって夢中になれる子どもたちが増えることを楽しみにしています。



あいさつ名人とは？

- ①挨拶をしてくれた人を見ることができる。
- ②挨拶を返すことができる。
- ③挨拶を相手に聞こえるように返すことができる。
- ④挨拶を相手に聞こえるように、良い表情で返すことができる。
- ⑤自分が先に、相手に聞こえるように、良い表情で挨拶することができる。
- ⑥TPOにふさわしい挨拶を、自分が先に、相手に聞こえるように、良い表情ですることができる。

できるようになる順でいうと、こんなところでしょうか。稲越小では④から⑤への進歩が課題です。大人になったとき、「あの人は挨拶もできないのね」と心無い言葉を言われることもあります。

挨拶は、人と人との間を保つ潤滑油の役割をする大切なスキルです。大人になればできるものでもなく、小さい頃からの家庭でのしつけや学校での教育が欠かせません。大人が手本となり、小学生のうちに「挨拶の良さや必要性」を、しっかりと身につけてほしいものです。